第１３回日中韓３か国地方政府交流会議が実施されました

当会議は、日本、中国、韓国３か国の地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的に、３か国の国際交流機関（日本・財団法人自治体国際化協会、中国・中国人民対外友好協会、韓国・全国市道知事協議会）が主催し持ち回りで開催しているものです。

過去最多の参加者約 500 名による開催

伊藤祐一郎鹿児島県知事による主題発表

本年８月 29 日から９月１日に渡り、韓国・全羅北道において「第 13 回日中韓３か国地方政府交流会議」が開催されました。日中韓３か国で過去最多の約 500 名の参加があり、うち日本からは全国の 13 自治体及び９関係団体の 61 名が会議に参加しました。

当会議は、日本、中国、韓国の３か国の地方政府間の協力関係の強化を図るとともに、国際交流・協力交流・協力を促進することを目的とした国際会議です。日本からは、伊藤祐一郎鹿児島県知事による主題発表「地域の特色を活かした東北アジアの地方交流を皮切りに、事例発表として「地方政府間交流を通じた地域経済発展事例及び施策」を熊谷千葉市長により、また「低炭素グリーン成長発展のための取組」を山野之義金沢市長より発表いただきました。いずれも、この厳しい世界経済情勢の中、日中韓３か国協働での取り組み有効性と重要性を改めて認識するものでした。

山野之義金沢市長

熊谷俊人千葉市長

特別討論会で宮城県知事・仙台副市長による復興へのＰＲ

また、本年度の会議では上記のテーマ発表のほか、３月 11 日に発生した世界最大規模の災害であった東日本大震災を受け、日中韓３か国の災害対策の取組について特別討論会を実施し、村井嘉浩宮城県知事と伊藤敬幹仙台副市長に登壇頂き、被災時の状況から現在の復興状況を現場の声として説明頂きました。今回の大震災の教訓を活かした今後の災害対策の在り方についての提言や災害復興への力強い取組みは、中国側・韓国側の参加者に大きな感銘を与えました。

さらに当会議では、参加自治体同志の自由な交流の場として「交流の広場」が設定され、姉妹都市提携をしている自治体やこれからの姉妹提携や交流活動を検討している自治体が交流を行いました。

特　別　討　論　会　風　景

村井嘉浩宮城県知事

伊藤敬幹仙台副市長

次回、来年度の開催地は、中国雲南省昆明市に決定

日中韓３か国の輪番制で開催されます当会議ですが、来年度に実施します「第 14 回

日中韓地方政府交流会議」は、中国雲南省の昆明市で開催される事が決定しました。雲南省は中国の南西部に位置しベトナム・ラオス・ミャンマーと国境を接しており、タイ・カンボジア・インドといった東南アジアや南アジアと東アジアを結ぶ要所に位置し、観光産業をはじめ、後の発展が期待される省です。この地域との姉妹提携を結ぶ日本の自治体はまだ少ないですが、これを機に交流の足がかりとして頂ければと思います。

　また、再来年度（2013 年度）は日本での開催を予定しております。それに伴いまして開催都市（受入自治体）の公募を致します。今月下旬を目途に募集要項を作成・発信しますので、関心のある都道府県・政令都市の自治体は是非とも応募をお願い申し上げます。

会議詳細は、後日改めて御報告申し上げます。